

特記仕様書

項目	特記事項
<保温工事>	<p>■機械編 3章 保温、塗装及び防錆工事■</p> <p>* 給水管及び排水管(SGP)のコンクリート貫通部分及び土中部分は、防食テープ巻(1/2重ね2回巻)とする。 * ガス管のコンクリート貫通部分は、硬質塩化ビニル被覆管を用いる。又は配管用炭素鋼鋼管(白)を用いて防食テープ巻(1/2重ね2回巻)を施す。</p>
<塗装及び防錆工事> 3.2.1.3 塗装種別	<p>* 塗装種別 調合ペイント塗り塗料: ※JIS K 5516 1種 () アルミニウムペイント塗り塗料: ※JIS K 5492 ()</p>
<ポンプ> 1.2.4 水道用直結加圧形ポンプ	<p>■機械編 5編 給排水衛生設備工事■</p> <p>■機械編 1章 機 材■</p> <p>* 水道用直結加圧形ポンプ エンジン 逆流防止装置 設置位置: ※吸込側 () ・図面による</p>
<タンク> 1.4.1 一般事項	<p>* 設計用水平震度: ※図面による ()</p>
1.4.2 タンク	<p>* タンク(水槽) 形状、寸法その他、品質及び性能: ※図面による ()</p>
<消火機器> 1.5.1 一般事項	<p>* 屋内消火栓箱、易操作性1号消火栓箱、屋内2号消火栓箱、広範囲型2号消火栓箱、消火器箱併設形屋内消火栓箱、放水用器具格納箱、放水口格納箱、屋外消火栓箱の形状、寸法その他: 図面による</p>
1.5.3.1 連結送水管	<p>* 送水口: ・青銅製 ・ステンレス製 ・図面による * 型式: ・壁埋込型 ・スタンド型 ・図面による</p>
1.5.3.2 放水口	<p>* 呼称: ・50 ・60 材質: ・青銅製 ・ステンレス鋳物製 ・図面による</p>
1.5.4.1 屋外消火栓開閉弁	<p>* 材質(地上式): ・鋳鉄製(要部青銅製) ・ステンレス鋳物製 ・図面による</p>
1.5.4.2 屋外消火栓箱	<p>* 材質: ※鋼板(1.6mm厚以上) ・ステンレス鋼板(1.5mm厚以上) ・図面による * 形状: ※自立形片流れ屋根付き ()</p>

* 特定建設資材の再資源化等
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(平成12年法律第104号)以下「建設リサイクル法」という。)に基づき、特定建設資材の分別解体等及び再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。
なお、本工事における特定建設資材の分別解体等・再資源化等については、別表1又は2、及び3の積算条件を設定しているが、工事請負契約書「7解体工事に要する費用等」に定める事項は契約締結時に発注者と受注者の間で確認されたものであるため、発注者が積算上条件明示した別表の事項と別の方法であった場合でも変更の対象としない。ただし、現場条件の変更等、受注者の責によるものではない事項については、この限りでない。また、受注者は、特定建設資材の分別解体等・再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第18条第1項に基づく報告として、監督職員に「再資源化等報告書」を提出すること。「再資源化等報告書」は、建設企画課のホームページ http://www.pref.aichi.jp/kensetsu-kikakuから入手すること。

(注) 別表4については積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。
なお受注者の提示する施設と異なる場合においても、設計変更の対象としない。

* 別表1 建築物に係る解体工事

内容及び毎解の作業方法内容	工 程		作業内容		分別・解体等の方法	
	有	無	有	無	手作業	手作業と機械作業の併用
・ 建築設備、内装材等	有	無	有	無	手作業	手作業と機械作業の併用
・ 屋根ふき材	有	無	有	無	手作業	手作業と機械作業の併用
・ 外装材、上部構造部材	有	無	有	無	手作業	手作業と機械作業の併用
・ 基礎、基礎ぐい	有	無	有	無	手作業	手作業と機械作業の併用
・ その他()	有	無	有	無	手作業	手作業と機械作業の併用

* 別表2 建築物に係る新築工事等(新築・増築・修繕・模様替)

工 程及び解体作業方法内容	工 程		作業内容		分別・解体等の方法	
	有	無	有	無	手作業	手作業と機械作業の併用
・ 造成等	有	無	有	無	手作業	手作業と機械作業の併用
・ 基礎、基礎ぐい	有	無	有	無	手作業	手作業と機械作業の併用
・ 上部構造部分、外装	有	無	有	無	手作業	手作業と機械作業の併用
・ 屋根	有	無	有	無	手作業	手作業と機械作業の併用
・ 建築設備、内装等	有	無	有	無	手作業	手作業と機械作業の併用
・ その他()	有	無	有	無	手作業	手作業と機械作業の併用

* 別表3 建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等(外構・工作物等)

内容及び毎解の作業方法内容	工 程		作業内容		分別・解体等の方法	
	有	無	有	無	手作業	手作業と機械作業の併用
・ 仮設	有	無	有	無	手作業	手作業と機械作業の併用
・ 土工	有	無	有	無	手作業	手作業と機械作業の併用
・ 基礎	有	無	有	無	手作業	手作業と機械作業の併用
・ 本体工事	有	無	有	無	手作業	手作業と機械作業の併用
・ 本体付属品	有	無	有	無	手作業	手作業と機械作業の併用
・ その他()	有	無	有	無	手作業	手作業と機械作業の併用

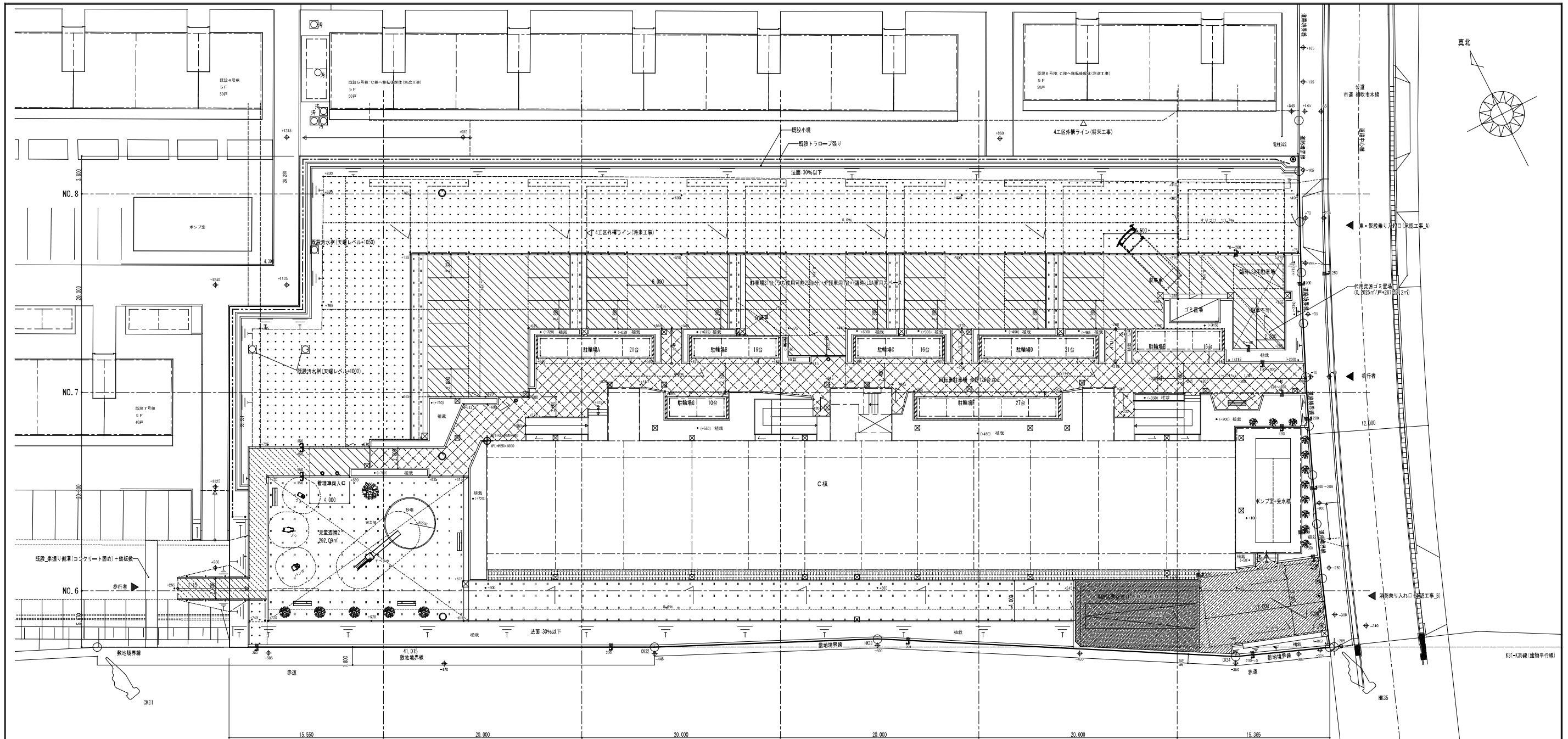
* 別表4 再資源化等をする施設の名称及び所在地

廃棄物の種類	施設の名称	所在地
・ コンクリート		
・ 鉄及びコンクリートから成る建設資材		
・ アスファルト・コンクリート		
・ 木材		

※別表は建築工事特記仕様書10/10による。

項目	特記事項

株式会社 河合建築設計事務所		初吹住宅建築工事(第3工区)		図面番号
一級建築士番号 第100481号 河合達雄 印		外構工事特記仕様書 5 / 5		縮尺 EX E
検図	製図	設計 H29年2月	愛知県建設部建築局公営住宅課	



外構計画平面図 S=1/200

※階段・スロープ・ゴミ置き場・受水槽廻りは詳細図参照とする。

(舗装) 凡例

凡例	主な部位	種類	詳細番号
	消防活動用空地	再生密粒度アスファルト舗装 A50	F-9D
	消防用通路	再生密粒度アスファルト舗装 A50	F-9C
	駐車場	透水性アスファルト舗装 A50	F-9B
	歩道	透水性アスファルト舗装 A30 (カラー)	F-8A'
	駐車場まわり	コンクリート舗装 A100 金コテ仕上	舗1
	バルコニー前	砂利敷き整地 A60	F-12
	公園	砂舗装 A160	F-7
	公園・駐車場ほか	芝張 (植栽・別途工事)	-
	仮設車路等	再生砕石敷 A60	舗2
	仮設歩道	透水性アスファルト舗装 A30	舗3
	雑草等	植栽 (別途工事)	-

(図中のレベル) 凡例

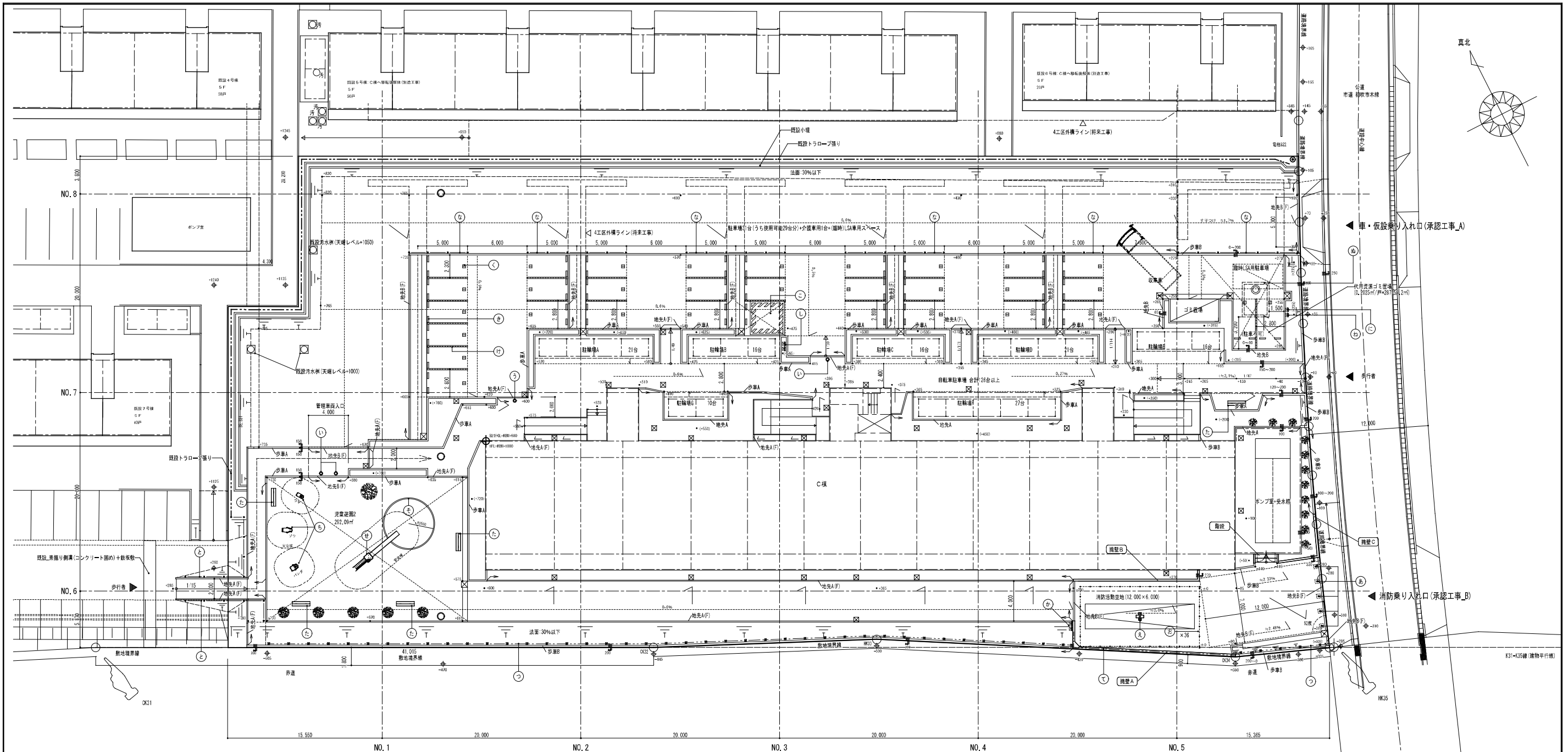
	現況高
	計画高 ()は植栽等レベル

※KDM=50.399
 ※KDM位置は図面A-1(全体配置計画図)参照とする。
 ※C棟設計GL=KDM+0.6m=50.999

凡例

	工事範囲
--	------

株式会社 河合建築設計事務所		初吹住宅建築工事 (第3工区)		図面番号
一級建築士登録番号 第100481号		外構計画平面図 (舗装)		EX
河合 建雄		縮尺	NO. 1	
		S=1:200 (A1)		
		S=1:400 (A3)		
検印	製印	設計	愛知県建設部 建築局 公営住宅課	
		H29年2月		



外構計画平面図 S=1/200

※擁壁・スロープ・ゴミ置き場・受水槽廻りは詳細図参照とする。

(外構) 凡例

あ	車止め タイプA可動	F-18
い	搬石車止め φ250 可動式	F-20
う	搬石車止め φ250 固定式	F-20
え	消防活動用空地 規制表示(中心表示板)	F-12
お	消防活動用空地 規制表示(周圏表示板)	F-19
か	消防活動用空地 標識(立て看板)H=1,500	F-11
き	車止め 1台あたり2か所	F-10
く	駐車場番号 (白色ペイント2文字) 1台 1か所	外3
け	駐車場 区画線 (白色・融解式)H=150	外3
こ	介護専用駐車場表示「介護専用」(黄色・融解式) ゼブラ(黄色・融解式)共	外4
さ	介護者専用駐車看板	外2
せ	3連鉄棒	F-7
せ	ステンレスすべり台	F-4
そ	砂場	F-9
た	木製ベンチA	F-5
ち	FRP製アニマル遊具(固定)	外5
つ	メッシュフェンス H=1500 独立基礎	F-16
て	メッシュフェンス H=900 擁壁基礎	F-16
と	トラロープ種	外1
な	トラロープ種(反射テープ巻)	外1'
に	防火水栓標識	F-10
ぬ	防火水栓	外6
ね	放水口案内表示板	外7

(搬石) 凡例

歩車A	緑石:歩車道境界ブロック A	F-1A
歩車B	緑石:歩車道境界ブロック B	F-1A
地先A	緑石:地先境界ブロック A	F-1B(段差利用)
地先A(F)	緑石:地先境界ブロック A	F-1B(フラット利用)
地先B	緑石:地先境界ブロック B	緑1(段差利用)
地先B(F)	緑石:地先境界ブロック B	緑1(フラット利用)
歩車A(C)	緑石:歩車道境界ブロック A	F-1C

擁壁一覧表

番号	構造	高さ	概要
A	名古屋市制1擁壁	675~340	L=1,5
B	RC擁壁	270~0	-
C	RC擁壁	330~200	-

(図中のレベル) 凡例

±0	現況高
±0.0 (±0)	計画高 ()は種別レベル

※KDM=50.399
 ※KDM位置は図面A-1(全体配置計画図)参照とする。
 ※C棟設計GL=KDM+0.6m=50.999

凡例

——	工事範囲
----	------

株式会社 河合建築設計事務所 一級建築士登録番号 第100481号 河合 達雄	初次住宅建築工事 (第3工区)	図面番号 EX
	外構計画平面図 (施設)	NO. 2
校 図 製 図 印	設計 H29年2月	愛知県建設部建築局公営住宅課